

# 令和4年度 学校自己評価システムシート 日高市立高麗中学校

目指す学校像	ミラクル高麗中 奇跡を起こせ ～よさや取り柄を伸ばし奇跡を起こす生徒を育む学校～
重点目標	(1) 確かな学力の育成 (2) 豊かな心の育成 (3) 小中一貫教育の推進 (4) 体育的活動の充実と健康教育の推進 (5) 安心、安全な学校、潤いのある環境づくり

学 校 自 己 評 価						学校運営協議会での評価	
年 度 目 標			A + Bの割合			令和4年度評価 (令和5年1月13日現在)	
評価項目	具体的方策	評価指標	( ) はAの割合		達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
			職員	保護者			
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	・学校目標をあらゆる教育活動に関連づけることで、一貫した教育活動を行う。 ・積極的な生徒指導、教育相談活動を推進することで、義務教育9年間を通じて生徒個々の自己実現を達成させる。	1 学校は、「高麗に誇りをもつ生徒」「志を立て、自ら進んで学ぶ生徒」「まごころをもって人と接する生徒」「高い目標に積極的に挑戦する生徒」の育成に努めている。	100% (64)	94.8% (42)	・職員会議提案資料には、学校教育目標との関連を明確に示すことができた。学校教育目標が、あらゆる教育活動に関連づけられ、目指す方向に進められた。 ・生徒のよさや取り柄を伸ばすべく、チームで生徒個々を支援し、自己実現達成につなげた。	A	・教育効果を高めるため、学校教育目標、ミッションを教職員が意識した教育活動を行っていきことができた。次年度もより一層意識して継続する。 ・生徒、保護者との面談をチームで実施できた。次年度は、さらにチームで関わる場面を多くしていく。 ・学級経営、授業を充実することで、不登校や不適応生徒が出現しないようにする。
		2 学校は、9年間を見通し、児童生徒のより良い成長を常に最優先に考えて教育活動を行っている。	100% (57)	89.7% (31)			
基礎学力の定着	・学習意欲も含めた基礎学力の定着のため、積極的に授業改善に取り組む。 ・「学び方」を身につけることを重視し、それを基に生徒個々の家庭学習支援を行う。	3 学校は、主体的・対話的な学びを通して、学ぶ姿勢や知的好奇心を高め、基礎学力が定着するよう、授業づくりに努めている。	100% (86)	90.7% (36)	・一人一授業研究の実施、学校指導訪問、研修会の参加などを通して授業改善に向けた取り組みができた。 ・主体的・対話的な学びを保証した授業の実施、ICT機器の活用、高麗中検定の実施などを通して生徒個々の能力が引き出した。	A	・一人一授業研究の実施や、多くの生徒が自律した家庭学習ができるよう支援されていることが素晴らしいと思います。 ・学ぶことは一生続く。「本を読む、人から教わる。」等、学び方を定着させることができれば良いと思う。 ・知的好奇心や向上心の確立は、中学校生活においてとても大切な要素だと思う。高麗中は少人数ならではの特色を活かし、細やかな指導がされていると思う。 ・勉強ができた、勉強が面白いなど確かな手応えを体感することは、未来への道筋を立てていく上でも大切だと思う。 ・小中一貫教育の教育効果、そのための準備を一緒に考えたい。
		4 学校は、個に応じた指導を充実させることで、家庭学習も含め生徒個々の能力を十分に引き出すよう努めている。	100% (57)	86.6% (29)			
保護者や地域との連携 (コミュニティ・スクールの視点)	・積極的に教育活動の情報発信をする。 ・保護者・地域との連携を核とした学校運営協議会の活動を、より活性化させる。	5 学校は、学校だより等各種の通信、ホームページ、定期メール配信等を通して、学校の教育活動の情報を、より具体的に発信するよう努めている。	100% (86)	96.9% (65)	・様々なメディアを通して積極的に教育活動を情報発信できた。 ・学校だよりを地域に回覧することで、多くの方に情報発信することができた。反響もあった。 ・学校運営協議会は、地域の方々の熱意と行動力によって活動が活性化できた。特に令和7年度に向けた準備会では多くの意見が寄せられた。	A	・教職員の働き方改革やこれからの情報発信の在り方を考え、配布物のペーパーレス化を実現したい。その布石として、学校評価アンケート調査をwebを利用して実施したが、回答率に課題を残した。 ・学校運営協議会を軸に、地域協働本部の協力を得て、コミュニティ・スクールを充実させ、成果につなげていくことが課題である。多くの意見、考えを集約し、調整、選択から実践に移す流れをスムーズに行っていく。
		6 学校は、保護者や地域と協働して教育活動の充実・改善を行い、学校運営協議会の活動を活性化することでコミュニティ・スクールとしての体制づくりに努めている。	100% (71)	94.8% (41)			
社会性人間性の育成	・生徒や保護者と協働し、秩序と規律ある生活態度を育成する。 ・地域の特性を活かしつつ、特別活動(含学校行事)、道徳教育を充実させる。	7 学校は、生徒の主体的活動を通して、あいさつ・言葉遣い・きまりを守ること等、規律ある態度の育成に努めている。	100% (57)	92.8% (45)	・保護者や地域の見守り支援、生徒の主体的活動を通して、秩序と規律ある生活態度が育成できた。 ・歴史と伝統ある河川清掃、立志式が実施できた。また、保健体育の授業では、地域の力を借りて弓道の授業を実施するなど、高麗地区ならではの行事、授業が実施できた。	A	・地域協働本部と連携し、協力して欲しい項目をリストアップし、それを地域に示して協力者を一人でも多く集めることが重要だと思う。 ・学校だよりを楽しみに見えています。 ・ペーパーレス化を小中学校共に進めて欲しい。 ・コミュニティ・スクールでは、地域協働本部と多くの意見を集約し、具体的に実践に移していく時が来ていると感じています。 ・各種たより、メール等が形式的なものではなく、先生方がご自分の言葉で確かなコミュニケーションとして発信している。高麗中ならではの暖かな魅力として受け取っていると思う。 ・地域との連携の大切さを感じた。お世話になりました。 ・web集計には、回答のし易さなど作り方の工夫が必要だと思う。 ・「地域の人」が関われ、自由に入出入りできる場を今後も大切に。
		8 学校は、地域の特性を活かした教育活動を行い、郷土を愛し、自他を大切に、相手の立場に立った発言や行動のできる生徒の育成に努めている。	100% (57)	96.9% (49)			
安心安全な教育環境	・教育相談体制を充実させる。 ・危機管理の徹底による安心安全な環境づくりを行う。	9 学校は、生徒の心身の健康の維持・増進のために、生徒や保護者の思いを大切にされた体制や環境づくりに努めている。	100% (79)	100% (40)	・スクールカウンセラー、教育相談員との連携など、日常やるべき活動がしっかり取り組めた。 ・日々の点検活動を複数の目で取り組めた。危険箇所は、教育委員会の協力を得て、早急に修理することができ、事故の未然防止が徹底した。	A	・全ての生徒の安心安全を担保し、誰一人見逃さない指導を継続していくことが課題である。チーム支援の工夫・充実、ケース会議、教育相談部会、生徒指導部会の運営改善を通して環境づくりを確実に行う。 ・土砂災害に隣り合わせの地区にあって、避難訓練、施設・設備の日常点検について、目的を明確化させた上で実施していく。
		10 学校は、災害の発生に備えるとともに、日常の事故防止対策の徹底に努めている。	100% (71)	95.9% (34)			